

健康増進編

1 健康手帳の交付

市区町村における健康手帳交付数は853,232人で、男325,342人、女487,885人となっている(表1)。

表1 健康手帳の交付状況

(単位:人) 平成28(2016)年度

	総数	40～74歳	75歳以上
総数	853 232	673 556	136 796
男	325 342	263 170	59 238
女	487 885	405 968	77 453

注: 年齢階級別及び性別の計数が不詳の市区町村があるため、総数と年齢階級別及び性別の計が一致しない。

2 健康診査

市区町村が実施した健康診査の受診者数は118,956人で、男56,014人、女62,942人となっている(表2)。

検査結果の状況を見ると、「糖尿病個別健康教育対象者(ア)」38,191人、「高血圧症個別健康教育対象者(イ)」34,656人などとなっている(表3)。

表2 性・年齢階級別にみた健康診査における受診者の状況

(単位:人) 平成28(2016)年度

	受診者数	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
総数	118 956	13 865	17 271	11 897	19 295	18 926	37 702
男	56 014	6 107	9 398	6 982	10 770	9 090	13 667
女	62 942	7 758	7 873	4 915	8 525	9 836	24 035

注: 1 老人保健法に基づき市区町村が実施していた基本健康診査は、平成20年度より高齢者の医療の確保に関する法律に基づき保険者が実施する特定健康診査と、健康増進法に基づき市区町村が実施する健康診査に分かれた。本報告では市区町村が実施した健康診査について計上している。
2 健康診査の受診者数は、「健康診査」、「訪問健康診査」及び「介護家族訪問健康診査」の受診者数の合計である。

表3 性別にみた健康診査における検査結果の状況

(単位:人) 平成28(2016)年度

	受診者数	検査結果								
		血圧		脂質異常		糖尿病		貧血 (疑いを含む。)	肝疾患 (疑いを含む。)	腎機能障害 (疑いを含む。)
		高血圧症 個別健康教育 対象者(ア)	高血圧症 個別健康教育 対象者(イ)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(ア)	脂質異常症 個別健康教育 対象者(イ)	糖尿病 個別健康教育 対象者(ア)	糖尿病 個別健康教育 対象者(イ)			
総数	118 956	13 129	34 656	24 809	32 840	38 191	13 742	16 295	18 316	17 377
受診者数に 占める割合(%)	100.0	11.0	29.1	20.9	27.6	32.1	11.6	13.7	15.4	14.6
男	56 014	6 207	17 427	12 114	14 883	17 217	7 702	7 739	10 898	8 294
受診者数に 占める割合(%)	100.0	11.1	31.1	21.6	26.6	30.7	13.8	13.8	19.5	14.8
女	62 942	6 922	17 229	12 695	17 957	20 974	6 040	8 556	7 418	9 083
受診者数に 占める割合(%)	100.0	11.0	27.4	20.2	28.5	33.3	9.6	13.6	11.8	14.4

注: 「個別健康教育対象者(ア)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の発症予防等のため指導が必要な者をいい、「個別健康教育対象者(イ)」は、特定健康診査及び健康増進法に基づく健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者をいう。

3 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診

市区町村が実施した歯周疾患検診の受診者数は 299,266 人、骨粗鬆症検診の受診者数は 305,434 人となっている。

受診者数に占める各指導区分の割合をみると、「要精検者」は歯周疾患検診では 72.8 %、骨粗鬆症検診 15.6 %となっている。(表 4)

市区町村における平成 28 年度の検診実施率は、歯周疾患検診 64.5 %、骨粗鬆症検診 62.3 %となっている(表 5)。

表 4 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施状況

(単位:人)

平成 28(2016)年度

		受診者数 ¹⁾	指導区分					
			要精検者	受診者数に占める割合(%)	要指導者	受診者数に占める割合(%)	異常認めず	受診者数に占める割合(%)
歯周疾患検診	総数	299 266	217 729	72.8	49 727	16.6	30 067	10.0
	40 歳	82 351	57 071	69.3	15 963	19.4	8 820	10.7
	50 歳	62 876	45 787	72.8	10 777	17.1	5 926	9.4
	60 歳	67 933	50 381	74.2	10 868	16.0	6 329	9.3
	70 歳	86 106	64 490	74.9	12 119	14.1	8 992	10.4
骨粗鬆症検診 ²⁾	総数	305 434	47 673	15.6	85 240	27.9	172 507	56.5
	40 歳	36 192	668	1.8	4 073	11.3	31 451	86.9
	45 歳	26 267	520	2.0	3 082	11.7	22 664	86.3
	50 歳	32 804	946	2.9	4 438	13.5	27 420	83.6
	55 歳	34 112	2 886	8.5	8 648	25.4	22 577	66.2
	60 歳	47 253	7 832	16.6	16 338	34.6	23 083	48.8
	65 歳	65 189	15 382	23.6	24 796	38.0	25 005	38.4
	70 歳	63 617	19 439	30.6	23 865	37.5	20 307	31.9

注: 1) 指導区分の計数が不詳の市区町村があるため、受診者数と指導区分の計が一致しない。

2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

表 5 歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施市区町村数及び検診実施率の年次推移

	歯周疾患検診					骨粗鬆症検診 ²⁾				
	平成24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	平成24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	(2012)	('13)	('14)	('15)	('16)	(2012)	('13)	('14)	('15)	('16)
実施市区町村数	981	1 018	1 049	1 064	1 121	1 063	1 068	1 084	1 076	1 082
検診実施率(%) ¹⁾	56.4	58.6	60.4	61.3	64.5	61.2	61.4	62.4	61.9	62.3
全国市区町村数	1 738	1 738	1 737	1 737	1 737	1 738	1 738	1 737	1 737	1 737

注: 1) 検診実施率 = (実施市区町村数 / 全国市区町村数) × 100

2) 「骨粗鬆症検診」の対象者は女性である。

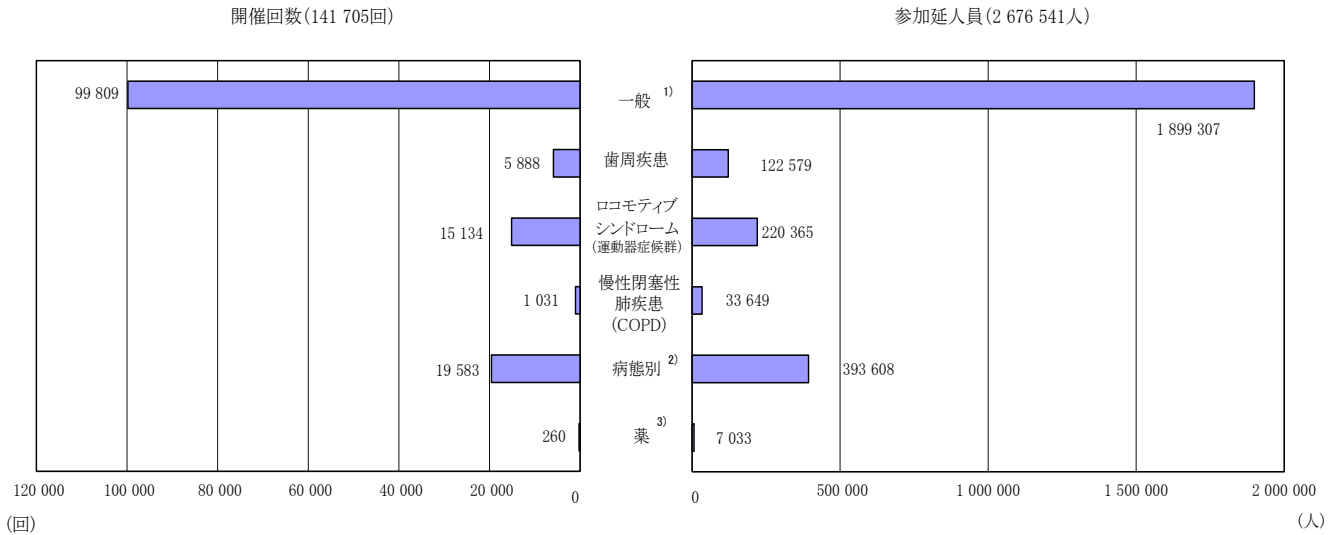
4 健康教育

市区町村が実施した集団健康教育の開催回数は141,705回、参加延人員は2,676,541人となっている。

内容別にみると、開催回数、参加延人員ともに、「一般」が最も多くなっている。(図1)

図1 集団健康教育の実施状況

平成28(2016)年度



注：1)「一般」とは、生活習慣病の予防のための日常生活上の心得、健康増進の方法、食生活の在り方等健康に必要な事項の教育をいう。

2)「病態別」とは、肥満、高血圧、心臓病等と個人の生活習慣との関係及び健康的な生活習慣の形成についての教育をいう。

3)「薬」とは、薬の保管、適正な服用方法等に関する留意事項、薬の作用・副作用の発現に関する知識の教育をいう。

5 健康相談

平成28年度に市区町村が実施した健康相談の被指導延人員は1,296,383人であり、そのうち重点健康相談は479,158人となっている。

重点健康相談を内容別にみると、「病態別」が148,366人と最も多くなっている。(表6)

表6 健康相談の年次推移

(単位:人)

		被指導延人員				
		平成24年度 (2012)	25年度 ('13)	26年度 ('14)	27年度 ('15)	28年度 ('16)
総	数	1 443 985	1 431 696	1 390 990	1 336 561	1 296 383
重点 健康 相談	総	532 783	506 553	504 815	506 695	479 158
	高	84 289	83 169	80 841	75 192	79 985
	脂	24 756	25 832	24 897	25 287	23 224
	糖	36 412	33 300	28 549	29 437	34 186
	歯	85 505	82 011	80 584	83 311	77 346
	骨	104 947	99 324	100 515	102 284	96 192
	女	19 999	16 803	18 394	19 728	19 859
	病	176 875	166 114	171 035	171 456	148 366
総	合	911 202	925 143	886 175	829 866	817 225

注：1)「病態別」とは、重点健康相談の「高血圧」から「女性の健康」を除く、肥満、心臓病等の病態別に、個人の食生活その他の生活習慣を勘案して行う相談指導等をいう。

6 機能訓練

平成 28 年度に市区町村が実施した機能訓練の実施状況は、実施施設数 231 か所、被指導延人員 33,927 人となっている（表 7）。

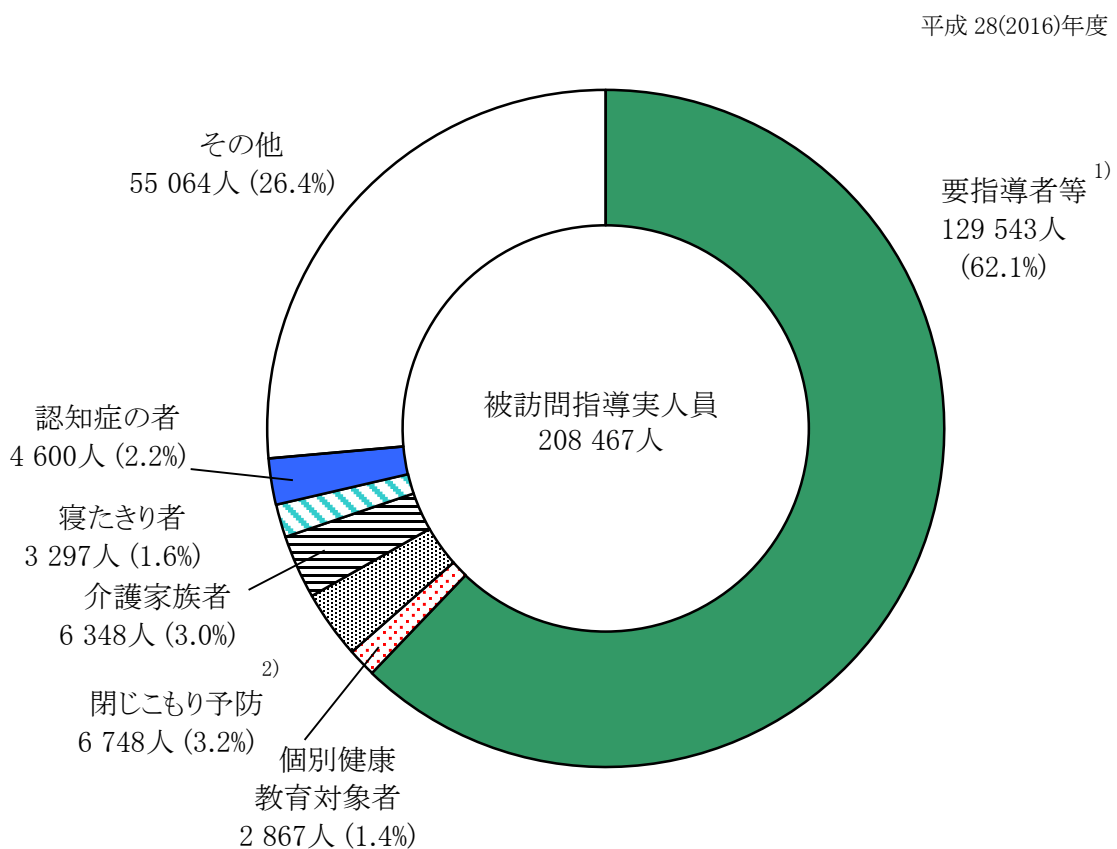
表 7 機能訓練の年次推移

	平成24年度 (2012)	25年度 ('13)	26年度 ('14)	27年度 ('15)	28年度 ('16)
実施施設数 (か所)	341	391	297	258	231
実施回数 (回)	11 473	10 747	8 544	7 713	7 224
被指導実人員 (人)	3 980	3 859	4 025	3 126	2 641
被指導延人員 (人)	54 094	48 285	44 021	37 148	33 927

7 訪問指導

市区町村が実施した訪問指導の被訪問指導実人員は 208,467 人となっており、訪問指導の対象者別にみると、「要指導者等」が 129,543 人（62.1 %）と最も多くなっている（図 2）。

図 2 訪問指導の対象者別にみた被訪問指導実人員



注：1) 「要指導者等」とは、生活習慣病改善のための指導が必要な者をいう。

2) 「閉じこもり予防」とは、介護予防の観点から支援が必要な者で、健康管理上訪問指導が必要と認められた者をいう。

8 がん検診

(1) がん検診の受診者数及び受診率

市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」8.6%、「肺がん」7.7%、「大腸がん」8.8%、「子宮頸がん」16.4%、「乳がん」18.2%となっている（表8）。

表8 がん検診受診者数及び受診率

(単位:人)

平成 28(2016)年度

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受診者数 ¹⁾	1 998 387	4 071 463	4 639 186	3 805 018	2 563 703
受診率 (%) ^{1) 2)}	8.6	7.7	8.8	16.4	18.2

注:「がん対策推進基本計画」(平成 24 年 6 月 8 日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳(「胃がん」は 50 歳から 69 歳、「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳)までとした。「受診者数」及び「受診率」については、「IV 用語の解説」26、27 頁参照。

1)平成 27 年度以前の受診者数及び受診率との比較にあたっては留意が必要である(1 頁「6 利用上の注意」(6)参照)。

2)受診率は、対象者数等の計数が不詳の市区町村を除いた値である。

(2) がん検診受診率の分布状況

市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率が「0～10%未満」と低い市区町村数は、「肺がん」が 745 (全国市区町村数に占める割合 42.9%)と最も多く、次いで「大腸がん」が 683 (同 39.3%)、「胃がん」が 605 (同 34.8%)となっている。(表9、図3)

表9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成 28(2016)年度

	全国 ¹⁾ 市区町村数	がん検診受診率別市区町村数 ²⁾					
		0～10%未満	10～20%未満	20～30%未満	30～40%未満	40～50%未満	50%以上
胃がん	1 737	605	728	159	47	5	3
肺がん	1 737	745	707	234	39	10	2
大腸がん	1 737	683	842	184	24	3	1
子宮頸がん	1 737	107	858	527	129	25	5
乳がん	1 737	31	633	623	274	62	24

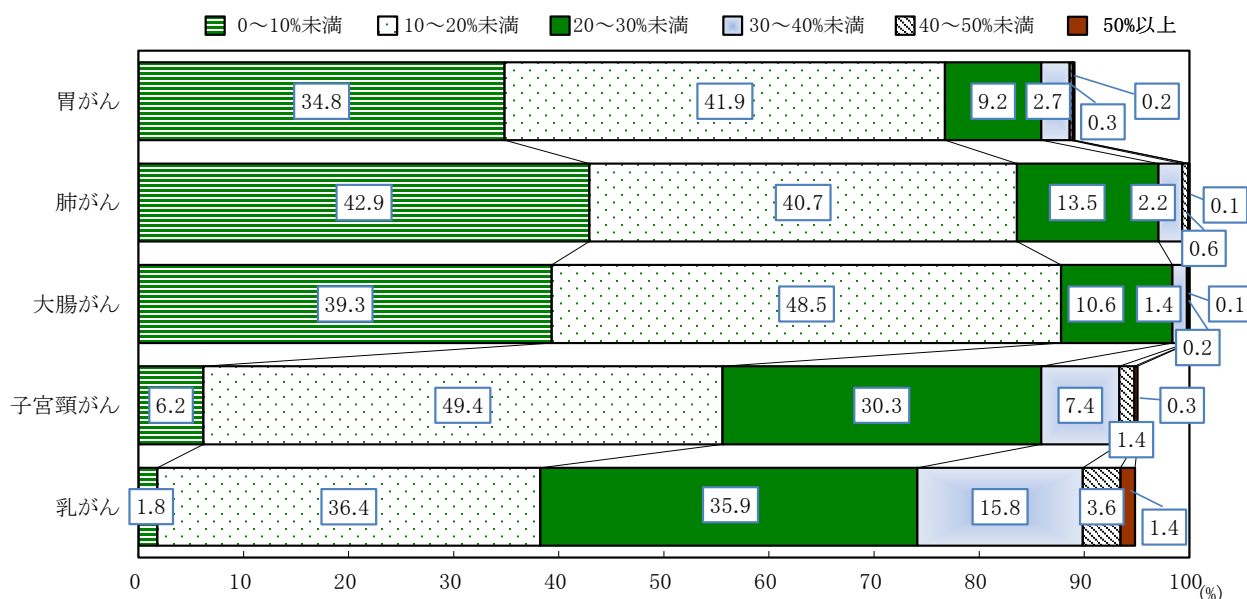
注:「がん対策推進基本計画」(平成 24 年 6 月 8 日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳(「胃がん」は 50 歳から 69 歳、「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳)までとした。「受診率」については、「IV 用語の解説」26、27 頁参照。

1)「全国市区町村数」にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

2)平成 27 年度以前の受診率との比較にあたっては留意が必要である(1 頁「6 利用上の注意」(6)参照)。

図3 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況¹⁾

平成 28(2016)年度



注：「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳（「胃がん」は 50 歳から 69 歳、「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳）までとした。「受診者数」及び「受診率」については、「IV 用語の解説」26、27 頁参照。
なお、総数にはがん検診受診率が不詳の市区町村を含む。

1) 平成 27 年度以前の受診率との比較にあたっては留意が必要である（1 頁「6 利用上の注意」（6）参照）。

(3) 平成 27 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況

平成 27 年度に市区町村が実施したがん検診における要精密検査者のうちがんであった者数の、がん検診受診者数に対する割合は、「胃がん」0.09%、「肺がん」0.04%、「大腸がん」0.19%、「子宮頸がん」0.04%、「乳がん」0.33%となっている（表 10）。

表 10 平成 27 年度がん検診受診者における要精密検査の受診状況¹⁾

平成 27(2015)年度

(単位:人)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
がん検診受診者数 ¹⁾	2 370 328	4 195 477	5 246 461	3 914 800	2 119 473
要精密検査者数 ¹⁾	171 943	63 272	342 309	85 434	169 377
精密検査受診率 ²⁾ (%)	80.4	83.1	68.8	74.3	87.2
がん検診受診者数に対する割合 (%)	7.25	1.51	6.52	2.18	7.99
がんであった者数 ¹⁾	2 206	1 527	9 941	1 544	7 024
がん検診受診者数に対する割合 (%)	0.09	0.04	0.19	0.04	0.33
要精密検査者数に対する割合 (%)	1.28	2.41	2.90	1.81	4.15
精密検査未受診者数 ¹⁾	13 506	4 255	45 314	6 220	5 972
精密検査未受診率 ²⁾ (%)	7.9	6.7	13.2	7.3	3.5
精密検査未把握者数 ¹⁾	20 122	6 460	61 492	15 710	15 723
精密検査未把握率 ²⁾ (%)	11.7	10.2	18.0	18.4	9.3

注：「がん対策推進基本計画」（平成 24 年 6 月 8 日閣議決定）及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成 20 年 3 月 31 日健康局長通知別添）に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を 40 歳から 69 歳（「子宮頸がん」は 20 歳から 69 歳）までとした。

1) がん検診受診者数については平成 27 年度受診者を平成 28 年度報告で改めて把握したものであり、平成 28 年度に精密検査を受診し、結果が判明した者についても含めている。

2) 「精密検査未受診者数」及び「精密検査未把握者数」の計数が不詳の市区町村を除いた値である。「精密検査受診率」、「精密検査未受診率」及び「精密検査未把握率」については、「IV 用語の解説」27 頁参照。

9 肝炎ウイルス検診

市区町村が実施した肝炎ウイルス検診の受診者数は、「B型肝炎ウイルス検診」763,224人、「C型肝炎ウイルス検診」761,638人となっている。

B型肝炎ウイルス検診において「陽性」と判定された者は4,978人、C型肝炎ウイルス検診において「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者は2,464人となっている。

(表 11)

肝炎ウイルスに関する健康教育の開催回数は1,114回、参加延人員は45,399人、健康相談の開催回数は2,498回、参加延人員は10,038人となっている(表 12)。

表 11 肝炎ウイルス検診の実施状況

(単位:人)

平成 28(2016)年度

	B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診	
	受診者数	「陽性」と判定された者	受診者数	「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」と判定された者
総 数	763 224	4 978	761 638	2 464
40歳	93 322	269	93 536	75
41～44歳	68 350	263	68 351	79
45～49歳	71 268	378	71 339	126
50～54歳	59 910	394	59 889	181
55～59歳	65 212	444	65 174	229
60～64歳	99 177	803	98 771	276
65～69歳	139 418	1 182	138 596	434
70～74歳	86 018	766	85 581	368
75～79歳	43 774	274	43 665	280
80歳以上	36 775	205	36 736	416

表 12 肝炎ウイルスに関する健康教育・健康相談の実施状況

平成 28(2016)年度

健 康 教 育		健 康 相 談	
開催回数(回)	参加延人員(人)	開催回数(回)	参加延人員(人)
1 114	45 399	2 498	10 038